

民主島根

2024年
11.3
第1458号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

衆院比例中国ブロックの議席届かず 大平喜信^{元衆議院議員}中国5県巡り大奮闘

村穂、亀谷の両氏も奮闘

総選挙が10月27日
投票され、日本共産党
は改選10議席から8議
席へと後退する結果とな
りました。比例代表では
7議席を獲得(得票33
6万2966票、得票率
6.16%)。比例中国ブ
ロック元職の大平喜信氏
の議席回復はかないませ
んでした。

上代善雄県委員長は結
果を受けて「共産党の『し
んぶん赤旗』が裏金問題
を暴いたことで与党を過
半数割れに追い込む役割
を果たした。財界やアメリ
カいなり政治を変え、希
望が見いだせる政治の実
現へ全力を挙げる」との
コメントを発表しました。

原発再稼働ノ、消費税減税を

村穂、亀谷両氏 公約実現へ決意述べる

衆院選投票から一夜
明けた10月28日、島
根1区で奮闘した党副
委員長の大平喜信氏は、
報告と公約実現への決
意を述べました。



投票翌日、公約実現へ決意を訴える村穂氏ら(松江市)



投票翌日に街頭で決意を述べる亀谷氏ら(出雲市)

9月定例県議会 - 日本共産党県議団の討論をご紹介します -

日本共産党県議団を代表して、尾村利成県議が9月定例県議会の最終日(10月9日)に行った「島根原発2号機再稼働中止を求める請願」の討論をご紹介します。請願は自民、公明、一部の民主系議員の反対で不採択となりました。

請願第16号「島根原発2号機再稼働中止を求める請願」

請願提出者は、医療団体である島根県民主医療機関連合会であり、請願趣旨において慢性的な人手不足の医療現場の深刻なる実態を踏まえ、複合災害時の避難計画に実効性がないことを具体的に訴えています。

住民の避難計画について、医療・福祉関係者からは「大雨や地震に原発事故が重なれば大変なこととなる。マンパワーが全く足りない」「病気の人や高齢者にとって移動(避難)すること自体、命の危機につながる」との悲痛な声が出されています。

なぜ病気で苦しみ、重篤な人たちが転院・移動しなければならないのでしょうか。長年、この島根で暮らす人がなぜ避難しなければならないのでしょうか。島根から離れざるを得ないこと自体、県民の笑顔と幸せを奪うものではありませんか。

避難計画に実効性があると言っているのは、避難計画を策定し、避難計画を了承した国、内閣府であります。原発事故の際、避難を余儀なくされる住民、医療、福祉関係者からの実効性などない、との声に真摯に耳を傾けるべきであります。

福島事故から13年。福島事故は人々の幸せとふるさとを奪い去りました。今年1月の能登半島地震、迫りくる南海トラフ地震をはじめ、頻発する地震に対し、県民の不安は高まっています。

科学者は「日本列島は地震の活動期に入った」と警告しています。島根原発直下には140キロもの活断層(宍道断層、鳥取沖断層)が走っています。大地震が発生し、島根原発で事故が起きたならば、美しい水の都、県都消失は避けられません。島根原発2号機再稼働に対する県民の理解と納得はなく、再稼働への県民合意はありません。

原発事故は、県民の笑顔と幸せを奪い去ってしまいます。事故が起こってから、いくら悔やんでも遅いではありませんか。原発ゼロこそ、島根の希望と未来ある道であることを強調するものであります。

よって、本請願の採択を切に、そして強く求めるものであります。



総選挙から一夜明けた10月28日、日本共産

自公過半数割れの力

大平氏 公約実現へ頑張ると訴え

党衆院中国比例候補として奮闘した大平喜信氏は、島根市内で選挙結果を報告しました。(写真)

「島根原発2号機を動かさない」署名にご協力を

中国電力は、島根原発2号機の原子炉に核燃料を入れる「燃料装荷」を10月28日に開始し、12月上旬の原子炉起動を計画しています。

日本共産党島根県委員会が取り組んでいる「再稼働中止」署名の締め切りは11月20日(水)です。署名へのご協力をよろしくお願いいたします。(署名用紙は、党島根県委員会ホームページからダウンロードできます)